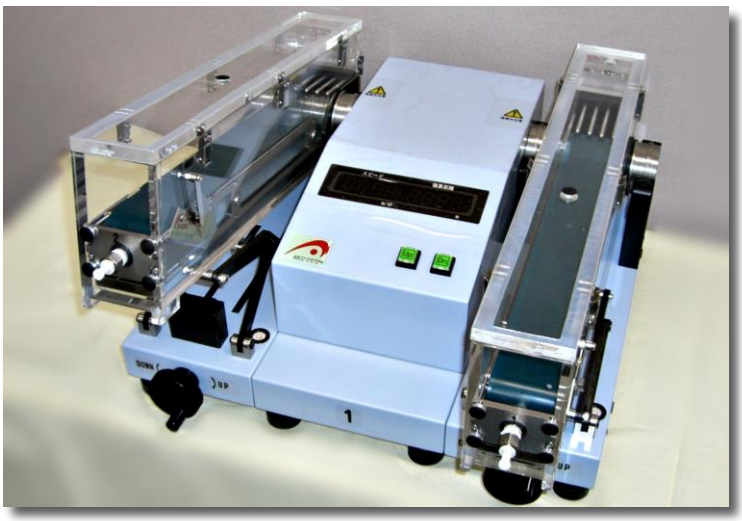
エネルギー代謝測定システム対応

小動物用トレッドミル

小動物エネルギー代謝測定システム ARCO-2000と連動し運動負荷を加えながらエネルギー代謝量を計測可能

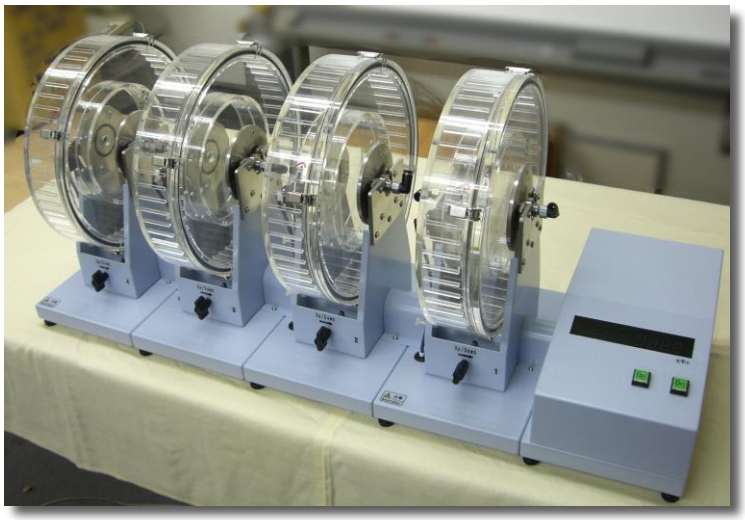


MB-2000/RB-2000
ベルトTypeトレッドミル

弊社 ARCO-2000 シリーズ小動物用エネルギー代謝計測システムと連動し、運動負荷を加えながらエネルギー代謝量を計測することが可能です。

ドラムタイプ･ベルトタイプ いずれも複数連結可能でエネルギー代謝測定用に開発された専用機です。複数連結数は、ドラムタイプ ･ベルトタイプ共にマウス用４連･ラット用２連まで可能です。

ベルトタイプはオーソドックスなベルト式で角度は 0°～25° まで 5° 間隔での手動設定が可能です。スピードは最大 50m/min まで設定可能です。



MD-2000/RD-2000
ドラムTypeトレッドミル

ドラムタイプは定常的な負荷を掛け易く、強制･自由運動いずれの状態でも計測可能です。

いずれのタイプも、ドラム回転速度またはベルト速度データをARCO-2000システムで ガスデータと共に同時取り込みが可能です。

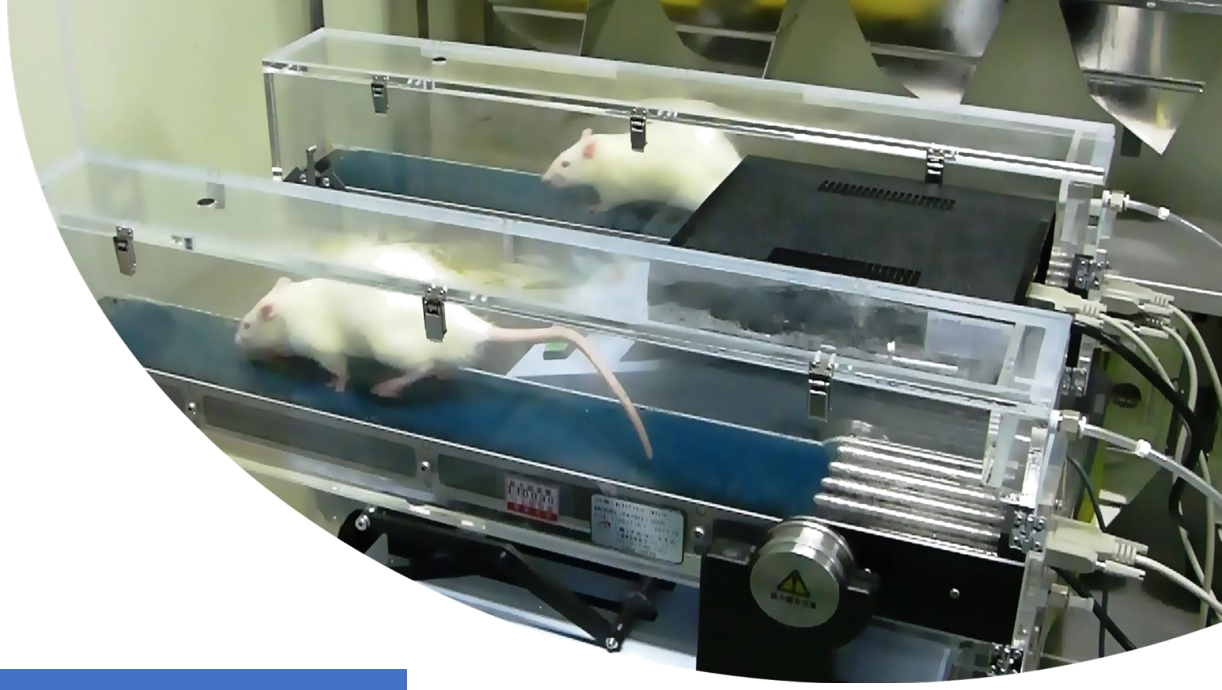
ベルトタイプでは電気刺激ユニットを別売で用意しております。１台で２機のトレッドミルを制御します。

ENV-414S
ショッカースクランブラー

For Mouse/Rat Treadmill

＊製品改良のため、外観・仕様は予告なく変更する場合がございますのでご了承下さい

有限会社アルコシステム

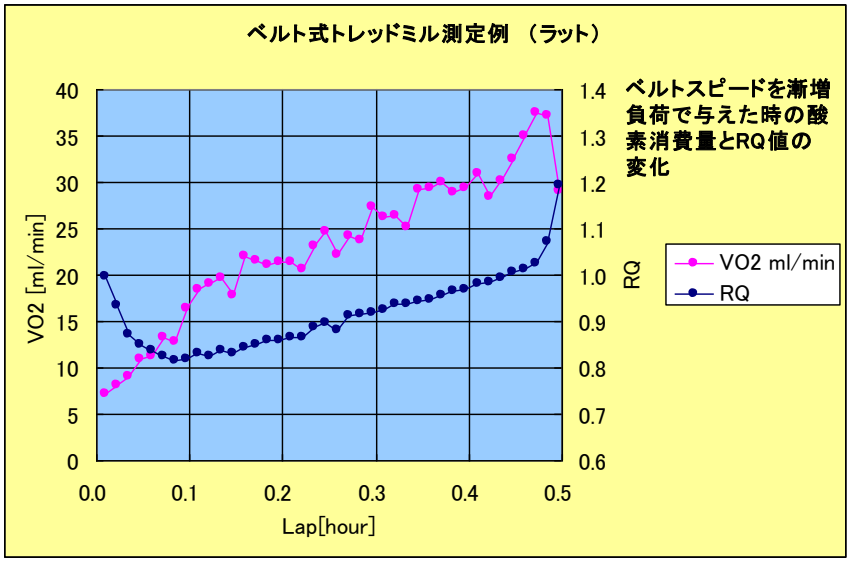


特徴

コントローラー１台で、マウス用は４機、ラット用は２機のトレッドミルチャンバーを制御することが出来ます。御購入の増設も可能です。

ベルト下部には糞尿トレーと体毛回収機構が付いており清掃も容易に行うことができます。

弊社分析システムと接続する事でガスサンプラーの換気吸引力により、トレッドミル内部に撹拌ファンを配置することなく検体のエネルギー代謝量を計測することができます。



VO_2は負荷上昇に対しリニアに反応しており、正しく計測されていることがわかります。

又、RQも負荷と共に上昇し、嫌気性閾値(AT)を越える負荷になりますと、1.0を越えて行きます。

また、運動終了後、急激な上昇が観測されます。

有限会社アルコシステム

ラインナップ

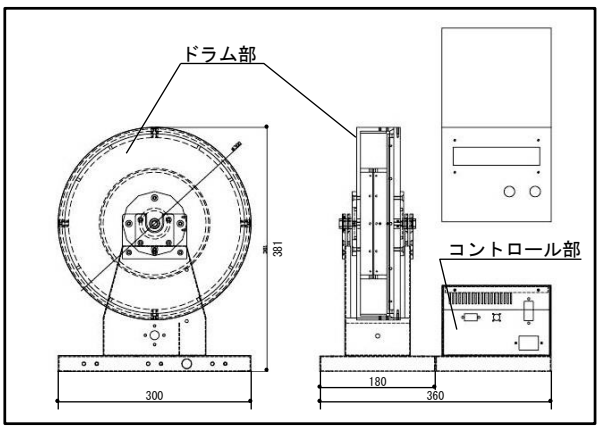
型　式	製　品　名	備　考
マウス用ドラムタイプトレッドミルコントローラー	MD-2000CT	1台で4連まで制御可能
マウス用ドラムタイプトレッドミルチャンバー	MD-2000	
ラット用ドラムタイプトレッドミルコントローラー	RD-2000CT	1台で2連まで制御可能
ラット用ドラムタイプトレッドミルチャンバー	RD-2000	
マウス用ベルトタイプトレッドミルコントローラー	MB-2000CT	1台で4連まで制御可能
マウス用ベルトタイプトレッドミルチャンバー	MB-2000	
ラット用ベルトタイプトレッドミルコントローラー	RB-2000CT	1台で2連まで制御可能
ラット用ベルトタイプトレッドミルチャンバー	RB-2000	

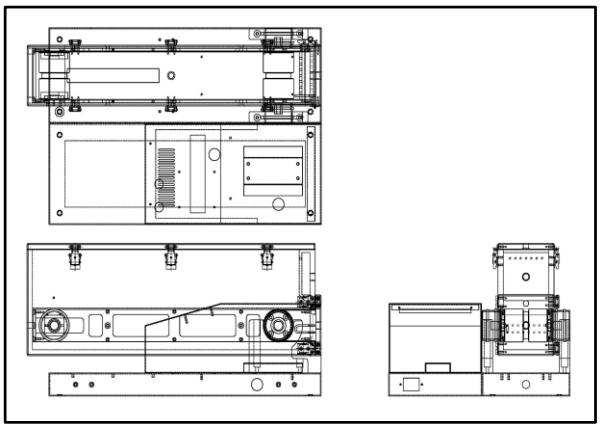
仕様

電源	AC100V 50/60Hz 1Amax	駆動方式	ステッピングモーター方式

	マウス用ベルト方式	ラット用ベルト方式
制御速度	5～50m/min	
傾斜角度	0～25°(手動連続可変 傾斜計付属)	
走路寸法	約 W50 x L295 x H60 (mm) *	約 W80 x L420 x H100 (mm) *
全体寸法	約 D480 x H255 x W175+130 x n (mm) *	約 560 x H290 x W175+165 x n (mm) *
重量	コントロール部　約3kg 走路部　約3kg(1連)	コントロール部　約3kg 走路部　約5kg(1連)
	マウス用ドラム方式	
全体寸法	約 D300 x H400 x W175+180 x n (mm) *	

＊ 突起部を含まない寸法です





製品改良のため、外観・仕様は予告なく変更する場合がございますのでご了承下さい

ARCO SYSTEM 有限会社アルコシステム

動物用エネルギー代謝測定システム
ARCO-2000-RAT

- **マウス・ラット系小動物から綿羊・牛馬などの中大動物まで測定が可能**
- **最大32ライン(ガスサンプラー2基)のマルチチャンバー方式を採用**

基本システム

マウス・ラット系の小動物から牛・馬などの大型動物まで様々な動物のエネルギー代謝測定に対応します。

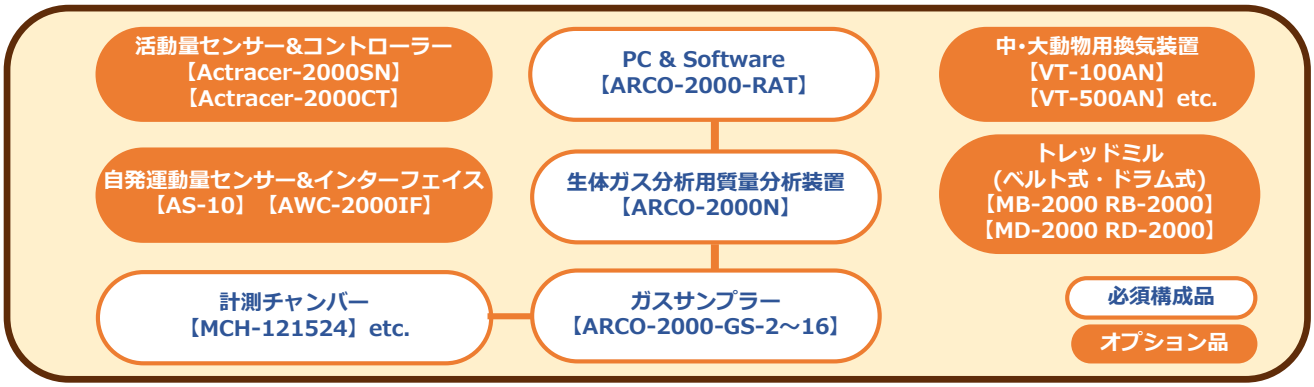
陰圧チャンバー方式による無拘束測定が基本となります。
小動物系ではガスサンプラー2台を接続することで最大32ラインの計測チャンバーの換気制御を独立に行うことができ、32検体を最小10分間隔で計測することが可能です。
トレッドミルや回転ケージなどの運動負荷装置、活動量計測システム、摂餌量計測システムなど、関連システムと連動した総エネルギー収支の測定が可能となります。
大型動物においてはフード法による測定という手法の選択もあります。

薬理・薬効試験、食品・栄養素効能試験、飼料消化試験への応用が可能です。

$^{13}CO_2/^{12}CO_2$安定同位体比分析機能を加えることも可能です。

【小動物用16ライン代謝測定】

システム構成図



＊製品改良のため、外観・仕様は予告なく変更する場合がございますのでご了承下さい

製造・販売元

生体ガス分析のコーディネーター
有限会社アルコシステム

〒277-0005 千葉県柏市柏4-11-17 イワダテビル
TEL:04-7169-7050 FAX:04-7169-1470
HP: https://www.arcosystem.co.jp
E-mail: mail@arcosystem.co.jp

CAT : ARCOTRML202005A